

# 重要

★★★必ずお読みください★★★

## BladeSymphony BS500

### 使用上のご注意

このたびは、日立統合サービスプラットフォーム BladeSymphony BS500 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本シートは、BS520A A1 サーバブレード、BS520H A1/B1 サーバブレード、BS540A A1/B1 サーバブレード、BS520H A2/B2 サーバブレード、BS520H B3 サーバブレード、BS520H B4 サーバブレード、BS520H B5 サーバブレード、BS520X B1 サーバブレード、および BS520X B2 サーバブレードに関するご使用上の注意事項を記載しております。

### 対象機能

対象機能は下記です。

- CPU 障害時縮退機能
- CPU の使用温度
- VMware vSphere® ESXi™インストール時の制限
- SMP 構成で VMware vSphere® ESXi™を使用する際の制限
- SMP 構成の VMware vSphere® ESXi™にて iSCSI 接続を使用する際の制限
- Red Hat® Enterprise Linux® 7.1 で 10Gb 2 ポートオンボード CNA、Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードまたは Emulex 8Gb/16Gb 2 ポート FC 拡張カードを使用する際の制限
- VMware vSphere® ESXi™にて 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードを使用する際の制限
- Microsoft® Windows Server® 2012/2012 R2 にて 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードを使用する際の制限
- 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードの制限
- Emulex 16Gb 2 ポート FC 拡張カードの制限
- HVM を使用する際の制限
- Microsoft® Windows Server® 2016 を使用する際の制限
- EFI 設定の変更手順
- EFI 設定(Processors)の変更手順
- EFI 設定(SAS)の変更手順

### 対象モデル

対象モデルは下記です。

- BS520A A1 サーバブレード
- BS520H A1/B1 サーバブレード
- BS540A A1/B1 サーバブレード
- BS520H A2/B2 サーバブレード
- BS520H B3 サーバブレード
- BS520H B4 サーバブレード
- BS520H B5 サーバブレード
- BS520X B1 サーバブレード
- BS520X B2 サーバブレード

BS520H B5 サーバブレードは個別対応品です。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

★★★必ずお読みください★★★

## 注意事項

### ■ CPU の障害時縮退機能

CPU の障害時縮退機能を使用すると、ネットワークが見えなくなるなどの事象が発生する可能性がある為、ファームウェアにより縮退可否を判別し、下記にあてはまる条件下では CPU の障害時縮退機能を抑止します。

[対象 OS]

・全 OS

[対象サーバブレード]

[BS520A A1 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS520H A1/B1 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS540A A1/B1 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 24 Core 未満となる場合

[BS520H A2/B2 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS520H B3 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS520H B4 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS520H B5 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

※BS520X B1 サーバブレード、BS520X B2 サーバブレードに関しては、ファームウェアによる縮退機能抑止は行っておりません。障害時縮退後に有効な論理コア数が 12Core/Blade 未満となる前に保守交換を行ってください。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

2018 年 3 月(第 20 版)

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ CPU の使用温度制限

以下の CPU を搭載したサーバブレードにおいては、入気温度 30℃以下の環境で使用することが必須となります。  
30℃以上の環境で使用した場合、CPU の安定動作・寿命に影響を与える可能性があります。

[対象 OS]

・全 OS

[対象サーバブレード]

[BS520H A2/B2 サーバブレード]

・E5-2637v2 プロセッサを搭載した構成

以下の CPU を搭載したサーバブレードにおいては、入気温度 35℃以下の環境で使用することが必須となります。  
35℃以上の環境で使用した場合、CPU の安定動作・寿命に影響を与える可能性があります。

[対象 OS]

・全 OS

[対象サーバブレード]

[BS520H B3 サーバブレード]

・E5-2699v3 プロセッサを搭載した構成

・E5-2697v3 プロセッサを搭載した構成

・E5-2637v3 プロセッサを搭載した構成

[BS520H B4 サーバブレード]

・E5-2699v4 プロセッサを搭載した構成

・E5-2697v4 プロセッサを搭載した構成

・E5-2637v4 プロセッサを搭載した構成

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ VMware vSphere® ESXi™インストール時の制限

以下のサーバブレードにおいて、VMware vSphere® ESXi™をインストールする場合、下記に示す EFI の設定を変更する必要があります。変更を行わない場合、インストールに失敗する場合や、インストール後に VMware が起動できなくなる場合があります。

EFI 設定の変更手順については、■EFI 設定の変更手順を参照下さい。

#### [対象 OS]

- ・ VMware vSphere® ESXi™ 5.1
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Disable に設定
  - MM Config Base を 3GB に設定
- ・ VMware vSphere® ESXi™ 5.5
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Disable に設定
  - MM Config Base を 3GB に設定 (BS520H B3 サーバブレードと NVIDIA PCIe GPU ボードの組み合わせの場合は、2.5GB に設定)
- ・ VMware vSphere® ESXi™ 6.0
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Disable に設定
  - MM Config Base を 3GB に設定
- ・ VMware vSphere® ESXi™ 6.5
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Disable に設定
  - MM Config Base を 3GB に設定

#### [対象サーバブレード]

- ・BS520H B3 サーバブレード
- ・BS520H B4 サーバブレード
- ・BS520X B1 サーバブレード
- ・BS520X B2 サーバブレード

### ■ SMP 構成で VMware vSphere® ESXi™を使用する際の制限

以下の条件にあてはまる場合、VMware vSphere® ESXi™をご利用になる場合、EFI 設定の Processors の”C-States”を”Disable”に変更する必要があります。変更を行わない場合、CPU 障害が発生する場合があります。

EFI 設定の変更手順については、■EFI 設定(Processors)の変更手順を参照下さい。

#### [対象 OS]

- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.1
- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.5
- ・VMware vSphere® ESXi™ 6.0

#### [対象サーバブレード]

##### [BS520X B1 サーバブレード]

- ・2 ブレードもしくは 4 ブレードで SMP を構成

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ SMP 構成の VMware vSphere® ESXi™にて iSCSI 接続を使用する際の制限

以下の条件にあてはまる場合、VMware vSphere® ESXi™をご利用になる場合、EFI 設定の SAS を”Disable”に変更することにより、内蔵 RAID コントローラを無効化する必要があります。変更を行わない場合、ネットワークが見えなくなるなどの事象が発生する可能性があります。

EFI 設定の変更手順については、■EFI 設定(SAS)の変更手順を参照下さい。

#### [対象 OS]

- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.1
- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.5

#### [対象サーバブレード]

- [BS520X B1 サーバブレード]
- [BS520X B2 サーバブレード]

下記の両方にあてはまる場合

- ・2 ブレードもしくは 4 ブレードで SMP を構成
- ・iSCSI 接続を使用

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

■ Red Hat® Enterprise Linux® 7.1 で 10Gb 2 ポートオンボード CNA、Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードまたは Emulex 8Gb/16Gb 2 ポート FC 拡張カードを使用する際の制限

以下のサーバブレードまたは拡張カードにおいて、Red Hat® Enterprise Linux® 7.1 をご利用になる場合、ファームウェア、ドライバをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。

[対象 OS]

- Red Hat® Enterprise Linux® 7.1

[対象サーバブレード・対象拡張カード]

[BS520H B2 サーバブレード 10Gb 2 ポートオンボード CNA]

- 以下のファームウェアバージョンをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。
  - ファームウェアバージョン: 10.6.144.21 以降
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346515.html>
- 以下のダウンロードページからドライバ、OneCommand Manager をダウンロードしてご使用ください。
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346516.html>

[Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カード (GG-CN3MXG2N3) (GG-CN3MXG2N3EX) (GG-CN3MXG2N4) (GG-CN3MXG2N4EX)]

- 以下のファームウェアバージョンをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。
  - ファームウェアバージョン: 10.6.144.21 以降
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346515.html>
- 以下のダウンロードページからドライバ、OneCommand Manager をダウンロードしてご使用ください。
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346516.html>

[Emulex 8Gb 2 ポート FC 拡張カード (GG-CC3M8G1N1) (GG-CC3M8G1N1EX)]

- 以下のダウンロードページからドライバ、OneCommand Manager をダウンロードしてご使用ください。
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346516.html>

[Emulex 16Gb 2 ポート FC 拡張カード (GG-CC3M161N1) (GG-CC3M161N1EX)]

- 以下のファームウェアバージョンをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。
  - ファームウェアバージョン: 10.6.144.21 以降
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346519.html>
- 以下のダウンロードページからドライバ、OneCommand Manager をダウンロードしてご使用ください。
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346516.html>

補足:

適用するファームウェアバージョンは、

『Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編—ドライババージョン一覧』をご参照ください。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

2018年3月(第20版)

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

■ VMware vSphere® ESXi™にて 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA / LAN 拡張カードを使用する際の制限

10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードを使用し、VMware 環境上でゲスト OS を Windows でご使用になる場合は、以下の手順を参照頂き、最新の VMware Tools を適用して下さい。VMware Tools の入手方法とインストール手順については、以下をご参照下さい。

### [対象 OS]

- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.1
- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.5
- ・VMware vSphere® ESXi™ 6.0

### [VMware tool 入手手順]

次の URL から入手できる、最新の VMware Tools を適用してください。

VMware 社 — VMware Operating System Specific Packages (OSPs)

URL: <https://www.vmware.com/support/packages>

### [VMware tool インストール手順]

適用方法については次の VMware 社公開情報を参照してください。

VMware 社 — VMware Tools の全般的なインストール手順 (2053219)

URL: <http://kb.vmware.com/kb/2053219>

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

■ Microsoft® Windows Server® 2012/2012 R2 にて 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードを使用する際の制限

以下の条件にあてはまる場合、LANドライバの VMQ(Virtual Machine Queues)設定を Disable に変更するか、LANドライバを 10.2.478.1 以降へアップデートする必要があります。変更を行わないまたはドライバをアップデートしない場合、OS の起動に失敗する場合があります。

### [対象 OS]

- ・Microsoft® Windows Server® 2012
- ・Microsoft® Windows Server® 2012 R2

### [対象デバイス・対象拡張カード]

- ・10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カード

### [対象ドライババージョン]

- ・LANドライババージョン: 10.2.478.1 以前

### [対象環境]

- ・Hyper-V 環境

・LANドライバをアップデートする場合は、以下の LANドライババージョンをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。

- LANドライババージョン: 10.2.478.1 以降
- <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/index.html>

### 補足:

ドライバ設定の変更およびドライバのアップデートについては、  
『Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編』をご参照ください。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。



# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードの制限

10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードは、使用する OS によってサポートしているファームウェアバージョンが異なります。また、使用するドライババージョンによってインストール手順や方法が異なる場合があります。詳しくは、Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編をご参照ください。また、ファームウェアバージョン 11.1.215.0 以降は、以下の機能は非サポートです。使用する場合は、Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編を参照しファームウェアのダウングレードをしてください。

#### [対象機能]

- ・SR-IOV
- ・iSCSI
- ・HVM

ドライババージョン 11.4.1178.0 は、ダウンロードサイトからの提供のみとなります。以下のダウンロードサイトからダウンロードしてご使用ください。ダウンロードサイトでは、「ドライバ・ユーティリティ ダウンロード」の「詳細はこちら」をクリックし、「キーワードで検索」で「装置」に「BladeSymphony」、キーワードに「Emulex」を入力して検索してください。

<http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/index.html>

### ■Emulex 16Gb 2 ポート FC 拡張カードの制限

Emulex 16Gb 2 ポート FC 拡張カードは、使用する OS によってサポートしているファームウェアバージョンが異なります。また、使用するドライババージョンによってインストール手順や方法が異なる場合があります。詳しくは、Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編をご参照ください。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ HVM を使用する際の制限

以下のサーバブレードにおいて、HVM をご使用になる場合は、下記に示す EFI の設定を変更する必要があります。変更を行わない場合、HVM が起動できなくなる場合があります。

EFI 設定の変更手順については、■EFI 設定の変更手順を参照下さい。

[対象サーバブレード]

[BS520H B3 サーバブレード]

- 全ての HVM version
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Enable に設定 (デフォルト設定値)
  - MM Config Base を 2GB に設定 (デフォルト設定値)

[BS520H B4 サーバブレード]

- 全ての HVM version
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Enable に設定 (デフォルト設定値)
  - MM Config Base を 2GB に設定 (デフォルト設定値)

[BS520X B1 サーバブレード]

- 全ての HVM version
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Enable に設定 (デフォルト設定値)
  - MM Config Base を 2GB に設定 (デフォルト設定値)

[BS520X B2 サーバブレード]

- 全ての HVM version
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Enable に設定 (デフォルト設定値)
  - MM Config Base を 3GB に設定 (デフォルト設定値)

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■Microsoft® Windows Server® 2016 を使用する際の制限

以下の条件にあてはまる場合、OS インストール時に Outbox ドライバを適用する必要があります。適用しない場合、インストールに失敗する場合があります。Outbox ドライバ適用手順は、OS セットアップガイド for Windows Server を参照してください。

#### [対象 OS]

- ・Microsoft® Windows Server® 2016

#### [対象サーバブレード]

- ・BS520H B3 サーバブレード
- ・BS520H B4 サーバブレード
- ・BS520H B5 サーバブレード
- ・BS520X B2 サーバブレード

Broadcom 1Gb 4 ポート LAN 拡張カードまたは Broadcom 1Gb 8 ポート LAN 拡張カードを搭載

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

2018 年 3 月(第 20 版)

# 重要

★★★必ずお読みください★★★

## ■Broadcom 1Gb 4ポート/8ポート LAN 拡張カードの制限

以下の条件にあてはまる場合、OS 稼働中にドライバの警告メッセージが表示される場合があります。

```
WARNING: ntg3: Ntg3Attach:776: 0000:xx:xx.x:Failed to initialize hardware (195887105)
```

下記メッセージが“/var/log/vmkernel.log”に存在する場合は、上記警告メッセージは無視してください。

```
Mod: 4968: Initialization of tg3 succeeded with module ID 4129. tg3 loaded successfully.
```

### [対象 OS]

- ・VMware vSphere® ESXi™ 6.5

### [対象サーバブレード]

- ・BS520H B3 サーバブレード
- ・BS520H B4 サーバブレード
- ・BS520H B5 サーバブレード
- ・BS520X B2 サーバブレード

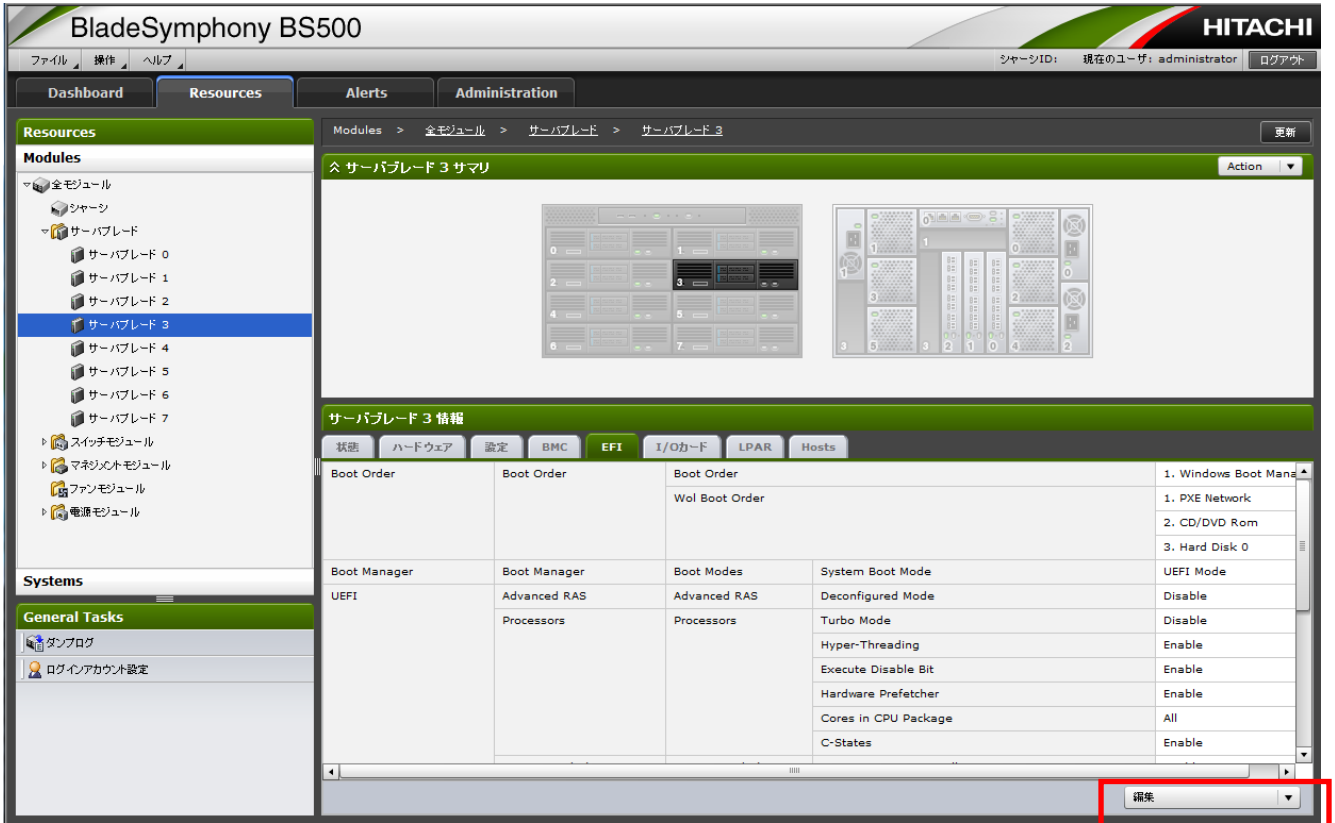
その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★★必ずお読みください★★★★

### ■ EFI 設定の変更手順

1. Web コンソールの画面で、Resources->Modules->対象のサーバブレード->「サーバブレード情報」の「EFI」タブをクリックし、「編集」をクリックします。SMP 構成をご利用の場合は、対象のサーバブレード選択時に「プライマリ」側を選択してください。



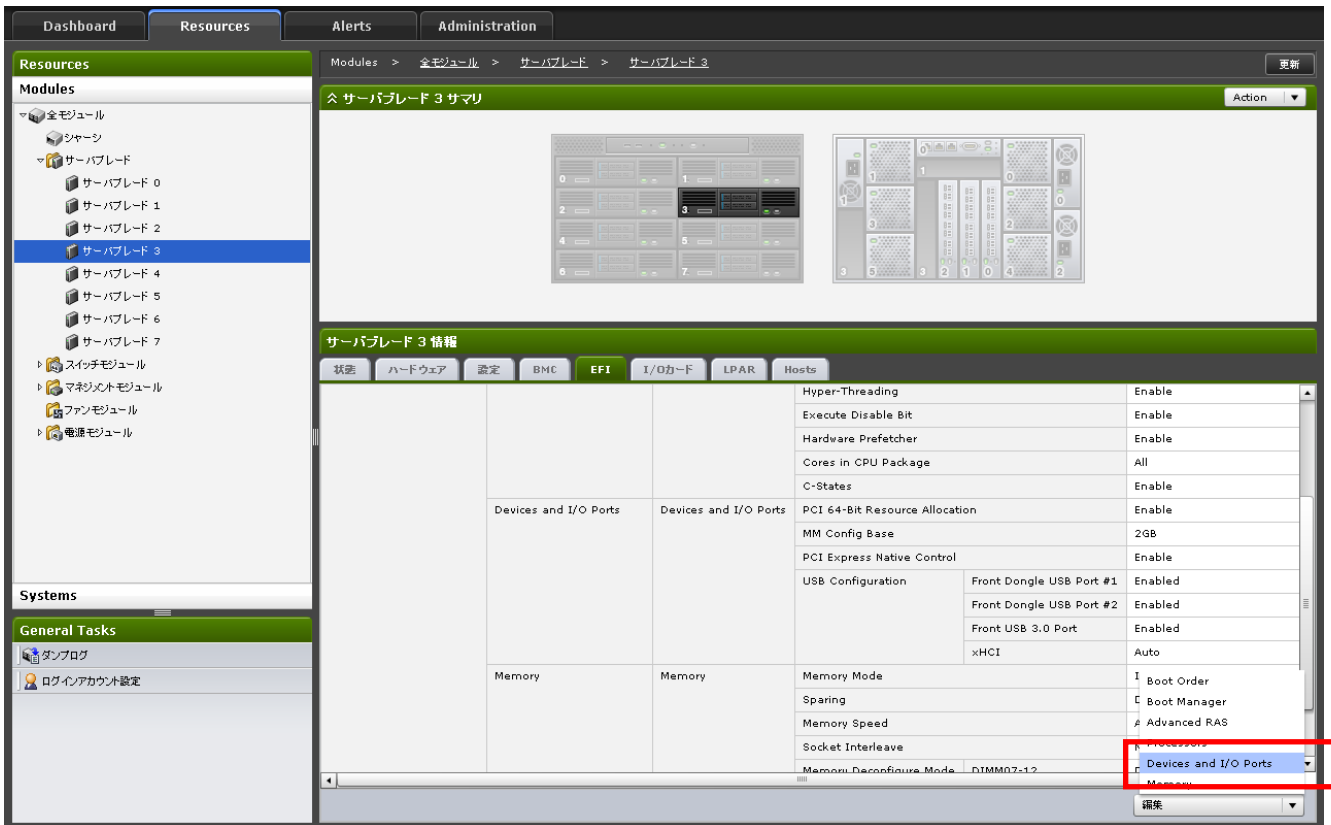
SMP 構成時の表示例

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

★★★★必ずお読みください★★★★

## 2. Device & I/O Ports をクリックします



## 3. Device & I/O Ports 設定のダイアログが表示されるので、内容に応じてそれぞれのプルダウンメニューを選択し「確認」をクリックします。

### (1) PCI 64-bit Resource Allocation の変更の場合

VMware vSphere® ESXi™インストール時の制限では、「PCI 64-bit Resource Allocation」のプルダウンメニューから「Disabled」を選択します。

HVMを使用する際の制限では、「PCI 64-bit Resource Allocation」のプルダウンメニューから「Enabled」を選択します。



その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

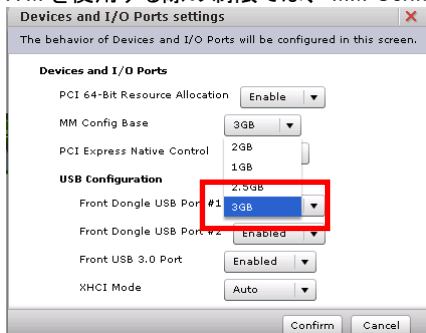
# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

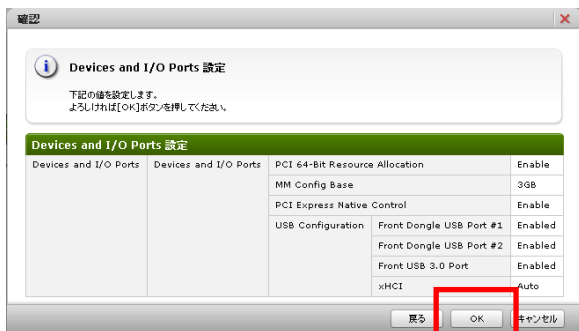
### (2) MM Config Base の変更の場合

VMware vSphere® ESXi™インストール時の制限では、「MM Config Base」のプルダウンメニューから「3GB」あるいは「2.5GB」を選択します。

HVMを使用する際の制限では、「MM Config Base」のプルダウンメニューから「2GB」を選択します。



### (3) 「確認」のダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。



### 4. EFI 設定のダイアログが表示されるので、設定が終わるまでしばらくお待ち下さい。



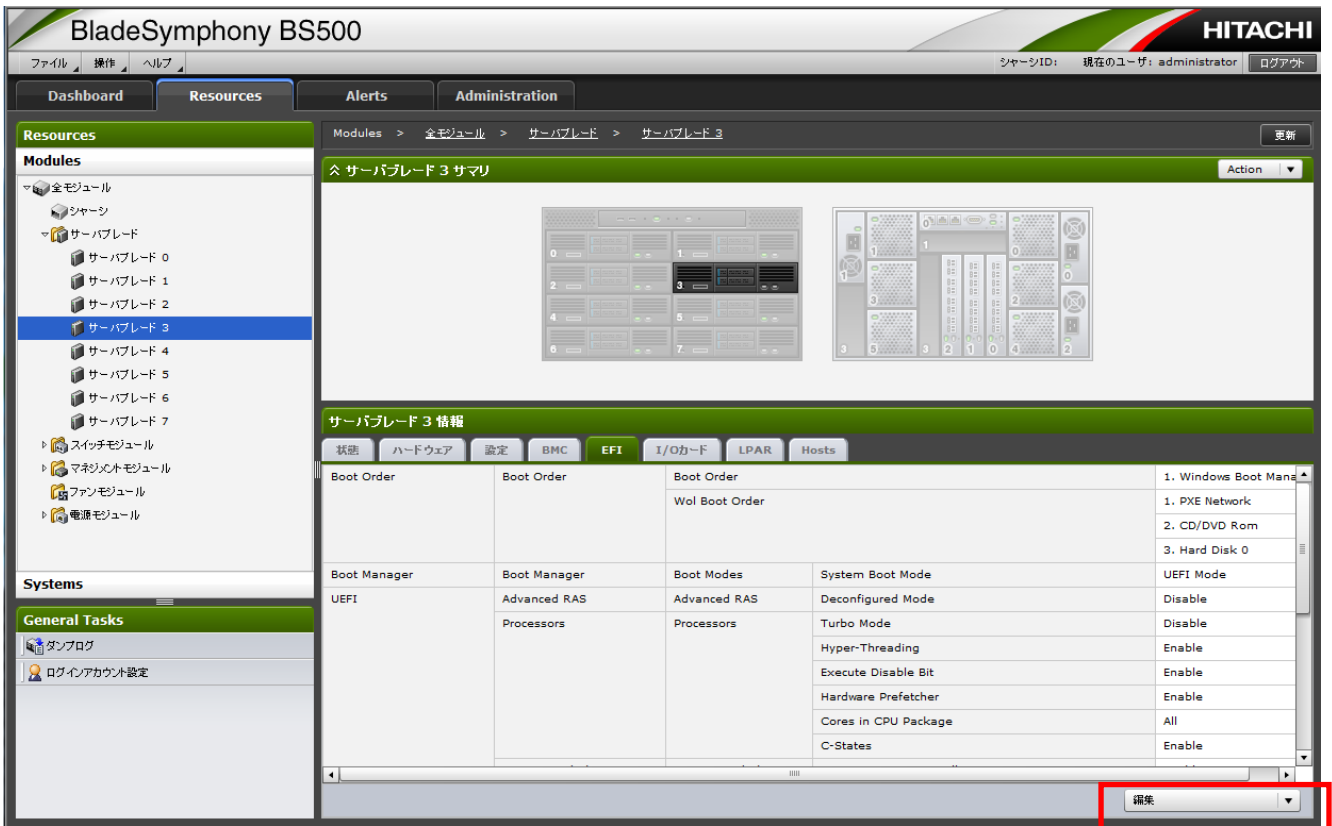
その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★★必ずお読みください★★★★

### ■ EFI 設定(Processors)の変更手順

1. Web コンソールの画面で、Resources->Modules->対象のサーバブレード->「サーバブレード情報」の「EFI」タブをクリックし、「編集」をクリックします。SMP 構成をご利用の場合は、対象のサーバブレード選択時に「プライマリ」側を選択してください。



SMP 構成時の表示例

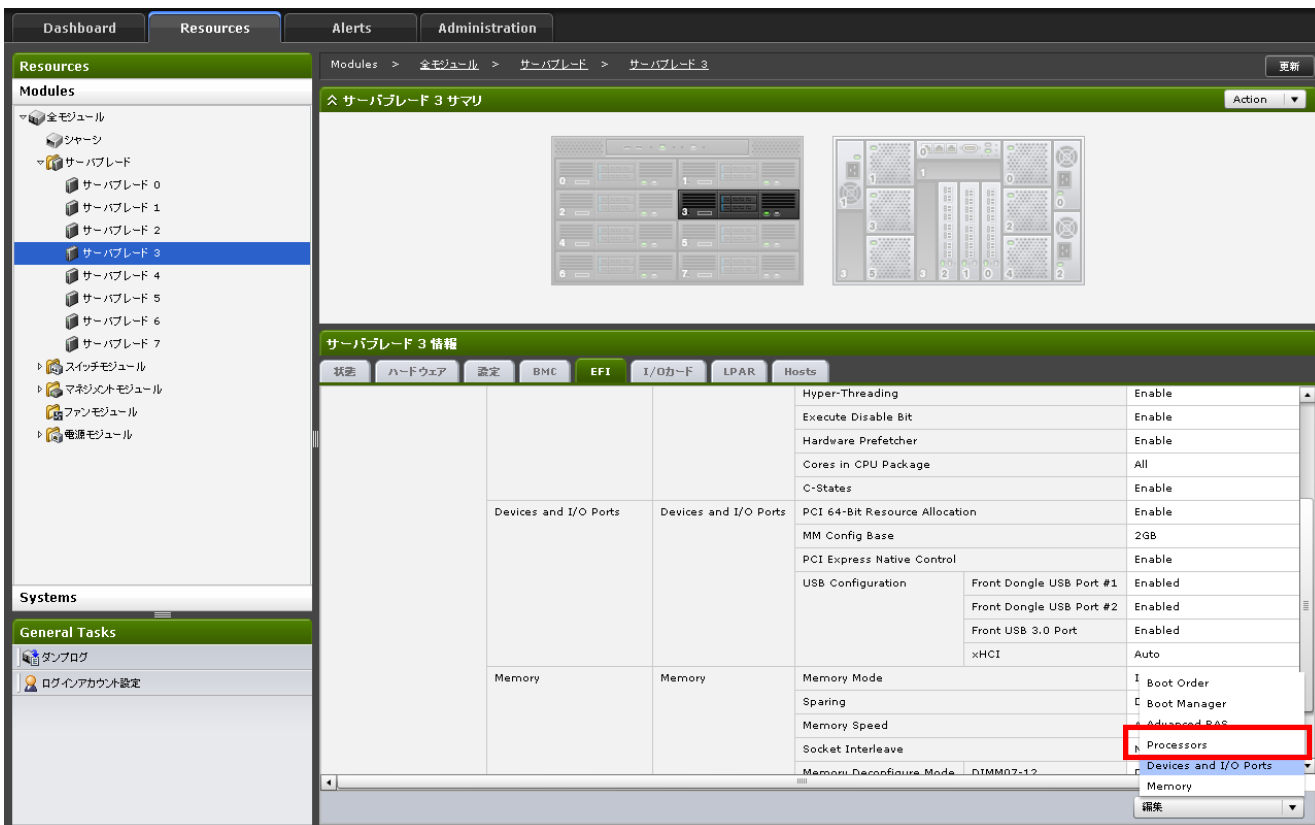
その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。



# 重要

★★★必ずお読みください★★★

## 2. Processors をクリックします



## 3. Processors 設定のダイアログが表示されるので、内容に応じてそれぞれのプルダウンメニューを選択し「確認」をクリックします。

### (1) C-States の変更の場合

「C-States」のプルダウンメニューから「Disable」を選択します。



その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

★★★必ずお読みください★★★

4. 「確認」のダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。



5. EFI 設定のダイアログが表示されるので、設定が終わるまでしばらくお待ち下さい。



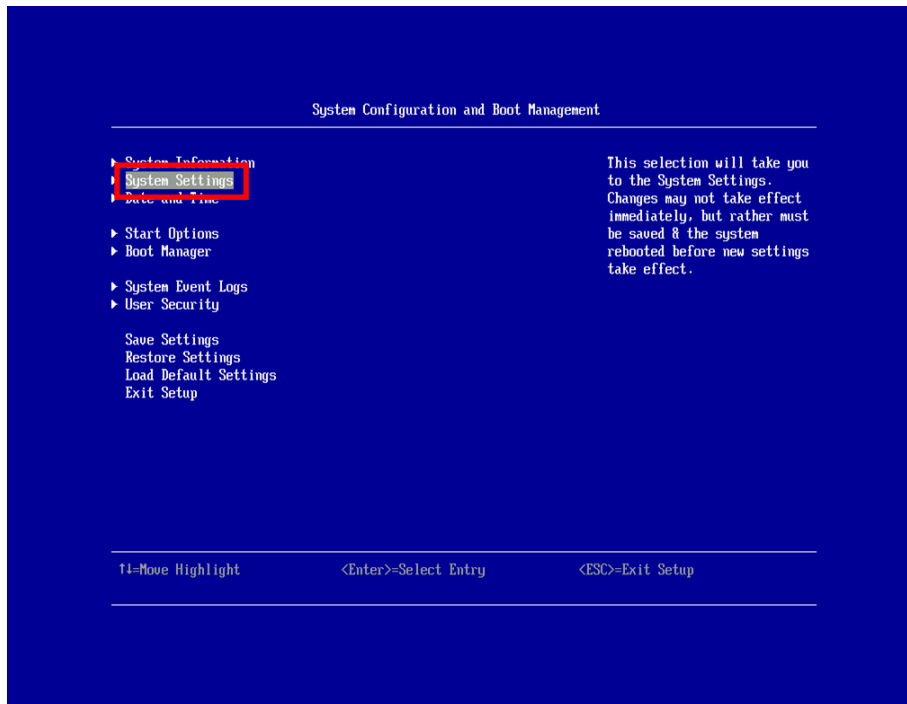
その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

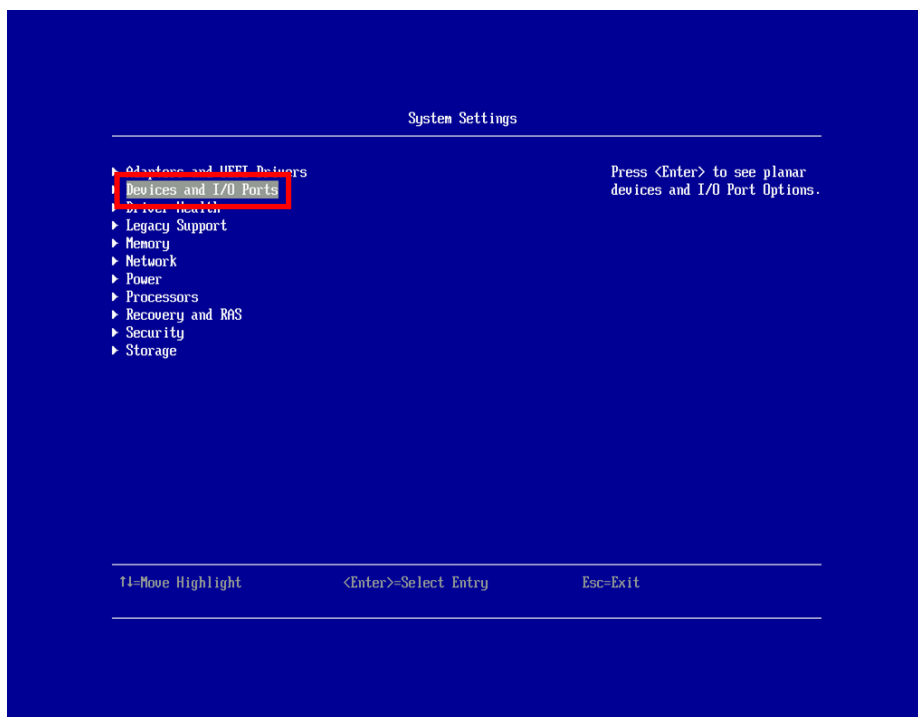
## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ EFI 設定(SAS)の変更手順

1. EFI の「System Configuration and Boot Management」の画面で、「System Settings」を選択し Enter キーを押します。



2. 「System Settings」の画面で、「Devices and I/O Ports」を選択し Enter キーを押します。

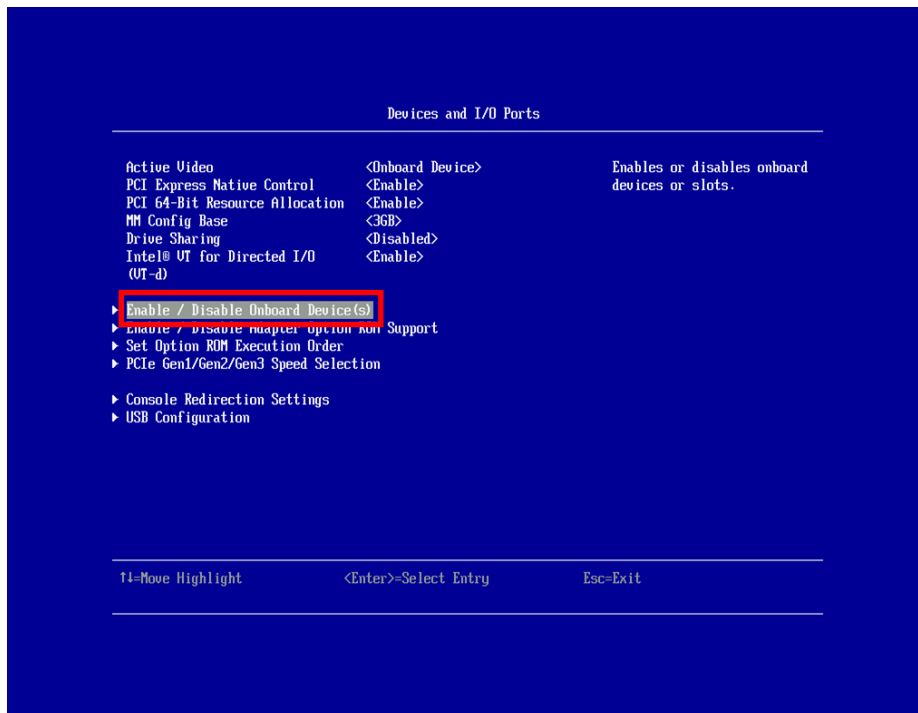


その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

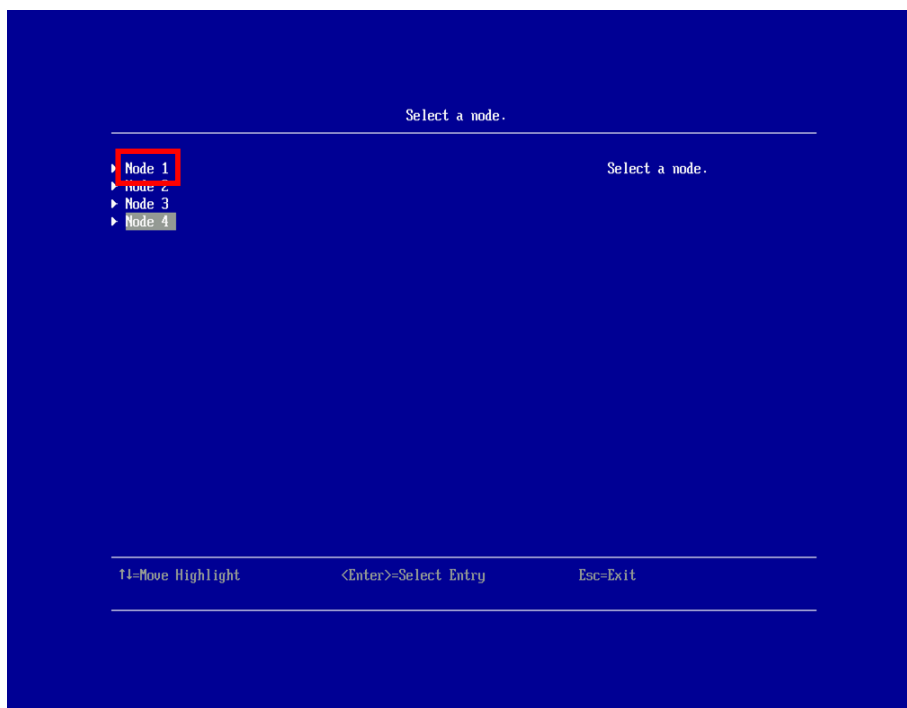
# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

3. 「Devices and I/O Ports」の画面で、「Enable / Disable Onboard Device(s)」を選択し Enter キーを押します。



4. 「Select a node.」の画面で、設定変更を行う Node 番号を選択し Enter キーを押します。

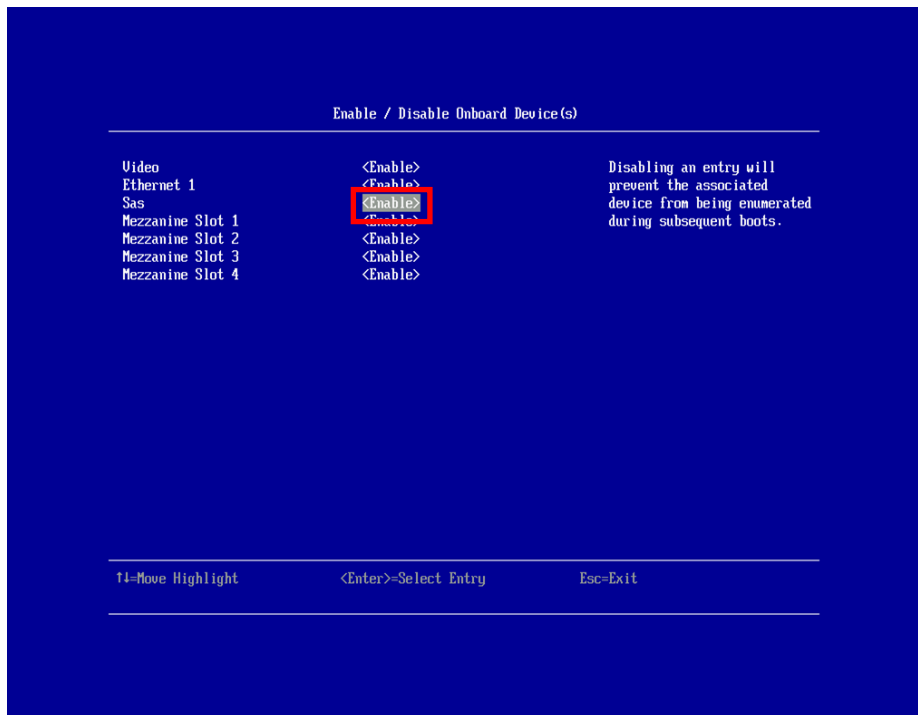


その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

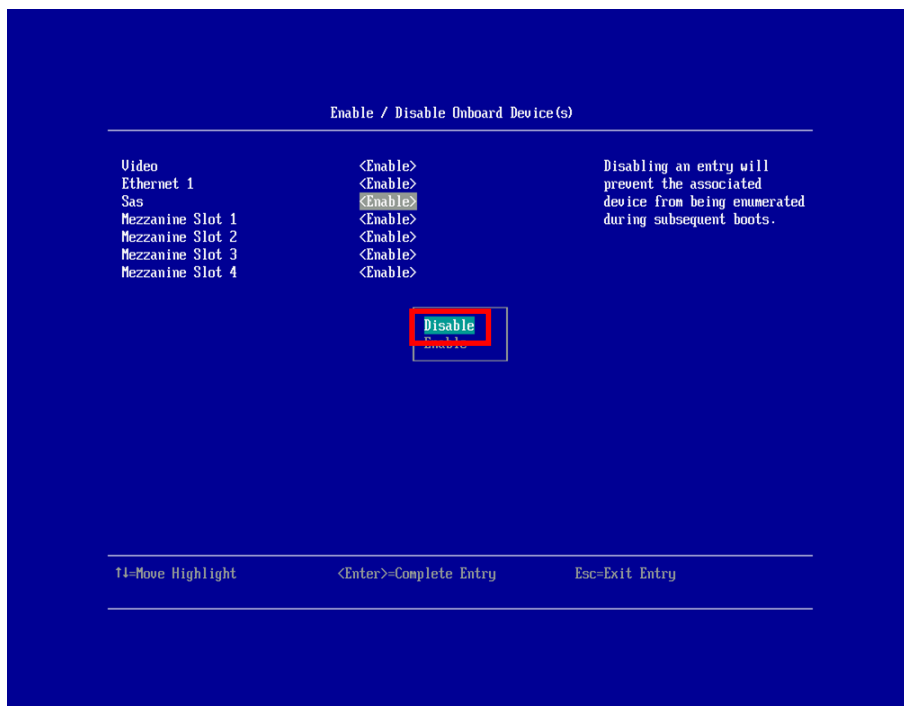
# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

5. 「Enable / Disable Onboard Device(s)」の画面で、「Sas」を選択し Enter キーを押します。



6. 「Disable」を選択し Enter キーを押します。



7. ESC キーを押して「Select a node.」の画面に戻り、残りの全ての Node に対して 4.~6.の操作を行い、「Sas」を「Disable」に変更します。  
8. ESC キーを数回押して「System Configuration and Boot Management」の画面に戻り、「Save Settings」を選択し Enter キーを押して、変更を保存します。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。